

ー現在の状況はどうでしょうか？

「2020年3月の数字（1カ月間、3月末の数字）ですが、保証件数は約2000件（前年同月比2割増）で、金額にして約418億（前年同月比4割弱増）となっています。内訳は建設業600件、飲食・宿泊業180件、製造業280件です。飲食・宿泊業を中心に資金繰りについての相談が増えています」

ーセーフティネットが打ち出されていますが。

「市町村認定を受けた保証申し込みについては、これから増えてくるものと考えているため、件数の増え方次第では協会の受け入れ体制の見直しも考えていかなければならないと思っています」

ー審査が終わるまでの期間は。

「今回、新型コロナの影響による制度利用には、事業所所在地町村の認定が必要で、その認定を受けるために、窓口の予約が取りにくいという話も聞いています。協会としては、保証申し込みを受け付けしてから、審査（協会認定が下りるまで）は1週間以内で進めています。」

「まずは、取引金融機関に相談に行ってもらうのが早いと思います。市町村の相談窓口については、かかる時間がそれぞれ異なるようです。当協会でも相談に乗っています。現時点で土日も電話相談窓口を設置しています」

ー審査のポイントは。

「難しいことは分かっていますが、やはり返済計画です。今後の見通しが立っているかどうかが一つのポイントになります。状況的に厳しいことではありますが、例えば、今まで借りているお金を一本化して返済計画を立て直すのも手です」